



熊本県選挙管理委員会
平畑 雅規 書記

20代の低い投票率
県内の投票率は年々下がっています。前回の衆議院議員選挙の投票率は約50%、特に20代の投票率が3割を切る状況でした。

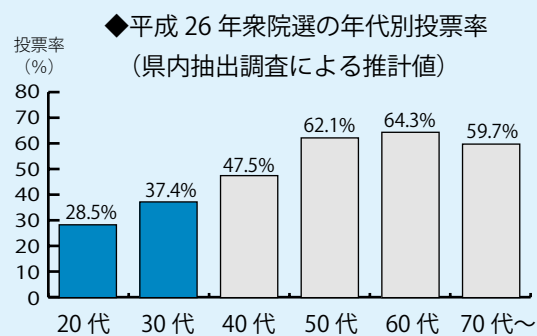
投票で自分の願う社会へ
投票は、自分の意見や願いを代弁する人を選び、自分の生活に反映させていく一つの方法です。意思表示をしないと、自分が願う社会になりません。

若い人たちも選挙に行つて自分の意志で代弁者を選んでほしいですね。投票は政治参加への第一歩。その権利を無駄にしないでください。

政治参加への第一歩

INTERVIEW

県選挙管理委員会に聞く



若い人たちから関心を高めて

主権者意識の向上と投票参加を呼び掛けるため、高校で選挙の出前授業を行なっています。一部の高校では期日前投票所の設置も予定されています。家庭などでも選挙を話題にして若い人たちから関心を高めてほしいですね。

期日前投票と不在者投票

期日前投票とは、投票日に仕事や旅行などで投票できない場合、選挙公示日（告示日）の翌日から投票日の前日まで、市町村の役所などで投票できる制度です。

不在者投票とは、不在者投票の手続きをすることで、選挙期間中に名簿登録地以外に滞在している人や病院などに入院している人が投票できる制度です。

若い人の投票率は低いんだね



あなたの一票が 新しい未来をつくる

初めての選挙に行きましょう！

一票くらいでは何も変わらないと思うかもしれませんが、若い世代が投票に行かないと、投票する世代だけのための政策が重視されてしまう可能性もあります。若い世代が活躍できる未来のためにも、あなたの声を政治に届けてみませんか。あなたの一票で新しい未来を――。



合同特集
Kumamoto Prefecture Public Relations Association

熊本市町村広報担当者による合同特集

若者と政治を結ぶ活動を行なっている NPO 法人ドットジェイピー 熊本支部に所属する大学生と共同で制作しました。



松永 和さん

小野 奈々実さん

岩元 誠悟さん

長野 大作さん

NPO 法人ドットジェイピー

若年投票率の向上を目的に活動する NPO 法人。熊本を含む全国 21 支部のエリアで、大学生スタッフを中心に議員インターンシップや投票率アップを図る活動を行なっている。

18歳。だから、投票に行く

7月の参議院議員選挙から18歳以上の若者が投票できるようになります。

VOICE

大学生に選挙について本音を聞きました

僕らの世代って選挙に関心ない人多いよね？

自分の一票でどう暮らしが変わるのか、実感が持てないんじゃないかな。

私もたった一票では何も変わらないと思ってた。以前、投票を呼び掛ける活動をしたけど若い人の反応は良くなかったよ。

なんで投票に行かないのかな？

日々の生活に不満があっても、どうしたらいいのかまでは考えないし、税金の使い道まで気にしてないんじゃないかな。

私の友達は用事で行けないって言ってたよ。投票日の前に投票できる期日前投票もあるんだけどね。

面倒だよなあ

期日前投票に行く同級生は、ほとんどいないよね。期日前投票を知らない人も多いと思う。どうしたらみんな投票に行くんだろう？

身近なところで疑問を感じing場面やきっかけがあればいいと思うな。

大学や駅、スーパーなどに投票箱があればいいと思う。それに自分の声を代弁してくれる同世代の候補者がいるといいな。

身近にきっかけがあればなあ



投票箱